

おだかいさま

〈題字は朝日福祉センター利用者の直筆です〉

「心も身体もリフレッシュ!!」



第 7 号

平成18年11月15日

編集・発行

社会福祉法人

鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町14-26

TEL 0235-24-0053

FAX 0235-23-9110

◆在宅介護者リフレッシュ事業◆

朝日福祉センターでは、介護者が、日頃の悩みや思いを語り合い、心も身体もリフレッシュすることを目的に在宅介護者リフレッシュ事業を開催しています。

2回目のこの日は、県内随一の高峰「鳥海山」に足を運び、澄み渡るほどきれいな青い海と青い空、赤や黄、黄緑と色鮮やかに紅葉している鳥海山の雄大な自然の素晴らしさを思う存分満喫してきました。また午後からは「鳥海温泉遊楽里」でおいしい料理とあったかい温泉もいただき、心も身体も十分に癒して、ゆったりとしたひとときを過ごしました。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

災害時のボランティアのあり方を学ぶ

～ボランティア援助者受付本部訓練より～

10月5日（木）、栄地区コミュニティセンター・栄小学校を会場に鶴岡市主催の鶴岡地域総合防災訓練が行われました。鶴岡市社会福祉協議会（鶴岡市ボランティアセンター）は、鶴岡災害ボランティアネットワークや鶴岡市ボランティア連絡協議会等の関係団体と共に災害ボランティアを受付し、被災地に送り出す「ボランティア援助者受付本部（災害ボランティアセンター）設置訓練」の実施と被災地や災害ボランティア活動の写真をパネルに貼り出した展示コーナーの開設をしました。



ボランティア援助者受付本部設置訓練



写真① 参加申込書に記入します。

ボランティア援助者受付本部設置訓練では、防災訓練の参加者に「被災地に駆けつけたボランティア」になっていただき、仮想「災害ボランティアセンター」によるボランティア受付を行いました。

受付の手順は写真①～④の通りです。



写真② 依頼表の中から自分の活動を選びます。



写真③ 地図で活動場所を確認します。



写真④ 活動前の説明を受けて、活動場所に出発します。

展示コーナー



写真展示の他、非常食や災害用グッズの展示も行いました。

参加者からの感想

- ◎中越地震は隣の県のことではあるし、いつ我々にふりかかるかわからない、被災を想定した準備は必要であると感じました。
- ◎自分にも何か出来ることがあればボランティアをしたいと思います。
- ◎災害ボランティアはあくまでも自己完結であることを知りました。
- ◎災害グッズと防災意識を常に備えておかねばならないと感じました。

バリアフリー教室

東北運輸局が主催し、ＪＲ鶴岡駅を会場に開催された「バリアフリー教室」は、鶴岡市立朝陽第三小学校５年生の５６名が、車イス体験（エレベーターに乗る等）・視覚障害者体験（アイマスクをつけて階段を昇降する等）・高齢者擬似体験（高齢者擬似セットをつけて券売機で切符を買う等）、の３班に分かれ体験しました。

子ども達は、普段一人でできる日常の動作が難しいことと、高齢者、障害者の気持ちを理解し、大変な人がいたら声をかけることが心のバリアフリーにつながるのだと感じたようです。

今回の教室では、学校の父母、第三学区社協、駅関係者等にご協力いただき、子ども達を温かく見守りサポートしてくれました。



車イス体験



視覚障害者体験



高齢者擬似体験

災害時の地域ささえあい活動

榛羽黒福祉センター

９月３日（日）、羽黒第三小学校を主会場で開催された総合防災訓練では、ボランティアによる耳が不自由な方への筆談通訳や、地域の人たちによる筆談通訳や聴覚障がい体験が行われました。榛

羽黒福祉センターで進めている「障がいがあっても不便を感じない環境づくり事業」の一環で、地域の人達の福祉力を高めるための活動として行政や関係団体等と連携して行っている活動です。



筆談通訳体験

子育て研修講座

（鶴岡市第五学区社会福祉協議会）

９月２５日、子育て中のお母さんたち約４０名が参加し開催されました。松原保育園佐藤いく子園長から「０，１，２歳の発達と大人のかかわり」と題して講演いただき、子供との接し方から築く信頼関係を年齢ごとにお話されました。榛

その後はホールに場所を移し、親子でできるハンカチを使った遊びや、肌を触れ合うコミュニケーションの方法をいっしょに楽しみました。



赤い羽根共同募金配分金事業 世代間交流会

１０月３日、松原保育園を会場に、地域の高齢者と保育園の園児が歌や踊りで交流する世代間交流事業が鶴岡市第五学区社会福祉協議会の主催で開催されました。榛

当日は高齢者、園児、ボランティアの方々合わせて約１４０名が集い、会を盛り上げました。隣の松涛館では茶会もひらかれ、昼食は外でも煮をつくりみんなで美味しくいただきました。第五学区社会福祉協議会の茅野会長は「今後も継続していければ」と話しておられました。



朝日福祉センターの地域福祉活動



朝日福祉センター（健康の里ふっくら内）

朝日福祉センターでは、“誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくり”を目指し、地域全般の福祉を考えながら、地域住民はもとより各関係機関等とも連携を密にしながら、事業の充実実践に努めています。

喜ばれている「移送サービス」事業



移送車両（ほほえみ1号）



移送車両（ほほえみ2号）

申請から運行迄の流れ

1. 利用登録申請書の提出
2. 移送サービス審査会
利用「可」の場合
3. 年会費納入・チケット購入
4. 通院日申込→通院

運転ボランティアのユニホーム



朝日福祉センターでは、高齢者・身障者であって通院困難な方を対象とした移送サービス事業を利用者及び運転ボランティアで組織する「ほほえみ桜の会」と一体となって実施しています。

現在の利用登録者数は、二十四名。運転ボランティアは十七名となっています。

※移送サービス事業は、鶴岡福祉センター、温海福祉センターでも実施しています。

日々、安心・安全、親切、丁寧な運行に努め、利用者からも大変喜ばれております。

尚、この事業は、平成十七年八月、福祉有償運送法の認可を受けており、事業の定着促進にも努めています。

そして、誰もが幸せに暮らせるように語りあいを深めながらすすんでいます。



福祉スクール
車椅子体験なども実施！



ボランティア体験
みんなの笑顔が光ります



生きがい講座
「男の料理教室」真剣です

誰もが心豊かに暮らせるように



配食サービス事業
おいしいお弁当をお届けします



在宅介護者リフレッシュ
日本海を眼下に笑顔があふれます



お茶のみ談話室
身近な地域でふれあいを

誰もが輝いて暮らせるように

心配ごと相談所の開設

- * 定例相談
毎週金曜日
13:00～15:00まで
相談員2名(隔週対応)
健康の里ふっくら於
- * 専門相談
随時対応
弁護士等(初回無料)

- ◎ 懇切丁寧、迅速解決を目標に対応いたします。
- ◎ 秘密は厳守、お気軽にご相談下さい。

たすけあい資金貸付

- * 10万円を限度に無利子で貸付いたしております。
 - * 他に、生活福祉資金貸付も行います。
- お気軽にご相談下さい。

※ 鶴岡市社協では、各福祉センターに窓口を開設し、各種相談並びにたすけあい資金相談を行っています。

福祉でまちづくりをめざして

藤島福祉センターの地域福祉活動

介護者のつどい 榛「介護のストレスたまっていませんか？」

10月5日、藤島公民館を会場に要介護度1～5の人を在宅で介護している家族を対象に「藤島地域介護者のつどい」を開催しました。この事業は社協の委託事業で、家族介護者交流激励支援事業のなかの一つで、介護者の精神的負担の軽減や介護者同士の交流の場づくり、介護者の情報交換や困りごと等の相談に応じることを目的として、行政・保健師・在宅介護支援センター・社協各担当者が連携し進めています。今回は、「介護のストレスたまっていませんか？」をテーマに保健師による講話・在宅介護支援センター職員による寸劇・足指チェッカー・懇談会・個別相談という日程で行いました。参加者は、これからも機会をつくって参加したいと話してくれました。



▲在宅介護支援センター職員による介護の寸劇
「さすが、迷演技でした！」



▲参加者みんなで、バランス チェック！



▲ふれあい給食 「おいしいですか？」



▲ボランティアのみなさん ありがとうございます。

ふれあい給食交流会

70歳以上の一人暮らし老人を対象に、ふれあいセンターを会場に月1回程度「ふれあい給食交流会」を開催しています。参加者やボランティアとのふれあいの中で、気軽につどい楽しく過ごし、お互いがつながりを持てることを目的に参加者同士交流を深めています。内容は会食のほかに、健康チェックや健康相談・軽スポーツ・ミニ郊外散歩等で過ごし、ボランティア・民生委員・保健師・在宅介護支援センターの協力で進めています。榛

また、春と秋には、健康づくり事業として、郊外に行き参加者の交流を深めています。榛

車座トーク住民座談会

平成15年度、市が策定した「地域福祉計画」に新鶴岡市の枠組みで、合併後の計画見直しにあたり、行政・社協・地域住民で福祉（＝生活）課題についていろいろな意見が出されました。この車座トークには藤島地域10ヶ所（15町内会）で実施し、健康・高齢者・障害者・地域活動・環境・交通・防災・などの分野において、地域のみなさんからたくさんの声をいただきました。「新鶴岡」の福祉でまちづくりを進めるうえでの貴重な財産となりました。榛



▲福祉 ＝ 「生活」課題について話し合いました。

※ 車座トーク住民座談会は、「地域福祉計画」の策定に向け、羽黒・柳引・朝日・温海のそれぞれ地域でも実施しています。

知的障害者通所授産施設「もみじが丘」



知的障害者通所授産施設「もみじが丘」は、定員20名で、利用者の方々が、授産活動やクラブ活動、生活支援をとおして、地域住民のひとりとして、自分らしく生活できるように支援を行っています。

「もみじが丘」は、温海町手をつなぐ親の会の方々が、“障がいのある子どもたちに働く場を”の思いから、スポーツタオルを販売しその収益金をもとに、昭和57年4月「もみじが丘作業所」が設置され利用者3名でスタートしました。

その後、利用希望者が増え、移転、新築、増築が行なわれ、現在、総合的な福祉サービス提供の出来る施設を目指し、鶴岡市社会福祉協議会が運営しています。

授産活動

4つの班に分かれ利用者の方が働く意欲を持って作業に取り組めるよう支援しております。

◎授産科目

- 裁縫班(エプロン、クッション、うたたね枕等)
- 加工班(弱電部品関係の組み立て)
- アルミ班(アルミ缶回収・プレス作業)
- たんぽぽ班(創作活動)



クラブ活動

余暇活動の充実や自分自身の生きがいを見つけ、健康に過ごせるよう趣味、特技を生かして、毎月1回「習字」、「絵画」、「踊り」に分かれ、クラブ活動を楽しんでいます。



「いつも楽しく花笠音頭を踊っています」

主な年間行事

地域の方々との交流を図りながら各種行事に取り組んでいます。

- ◇温海小運動会(5月)
- ◇一泊旅行(6月)
- ◇いそ釣り交流会(9月)
- ◇友愛スポーツ大会(10月)
- ◇文化祭(11月)
- ◇クリスマス会(12月)
- ◇新春お茶会(1月)
- ◇節分(2月)



「和気あいあい、生徒たちとヨーイドン！」
「温海小運動会に参加」



「いそ釣り交流会でクロダイの稚魚放流体験」
「元気で、はやく大きくなれよ！」

◇場 所・お問い合わせ

鶴岡市湯温海字湯之尻555番地

Tel 0235-43-4386

Fax 0235-43-2308

E-Mail: atumi-oka@post.plal.a.or.jp

法律無料相談開設のご案内 (予約制・秘密厳守)

- 相談員 弁護士
- 内 容 金銭・消費者被害・相続・一般相談など
- 日時・会場等

日 時	会 場	予約・お問合せ
12月21日(木) 18時～20時	鶴引老人福祉センター	鶴引福祉センター 電話 57-5300
1月17日(水) 13時～15時	温海福祉センター	温海福祉センター 電話 43-3266

子育て日曜サロンのお知らせ

- 日 時 12月17日(日) 9:00～13:00
- 場 所 鶴引すこやかセンター(プレイルーム)
- 内 容 プチクリスマス会(1000～)
- 対 象 乳幼児とその家族
- お問合せ くしびき子育て支援センター 電話57-5300

羽黒福祉センター木彫作品展のお知らせ

- 期 間 11月17日(金)～12月20日(水)
- 場 所 やまぶし温泉ゆぽか ギャラリー
- 内 容 高齢者いきいき木彫講座受講生の作品展示
- お問合せ 羽黒福祉センター 電話62-4534

ひろっぴあフリーマーケットのお知らせ

- 期 間 11月23日(木・祝) 13:00～16:30
- 場 所 鶴岡市中央児童館 プレイルーム、幼児室、クラブ
- 内 容 乳幼児～小学生までに使用する衣類・小物・玩具等々のフリーマーケット
- お問合せ ひろっぴあ 鶴岡市中央児童館 電話24-4608

情報掲示板

特設人権なんでも相談所開設のご案内 (秘密厳守)

- 相談員 人権擁護委員・法務局職員
- 内 容 登記、土地の境界問題、いじめ問題、一般相談など
- 日時・会場等

日 時	会 場	お問合せ
12月1日(金)	温海ふれあいセンター	温海福祉センター 電話 43-3266
13時～15時/18時～20時	研修室	
12月4日(月) 10時～15時30分	羽黒福祉センター相談室	羽黒福祉センター 電話 62-4534

チャイルドラインつるおか

・公開講座のお知らせ・

公開講座	子どもをどうとらえるか 「子どもの心に寄り添うとは」	「NPOボランティアが果たす役割」
講 師	教育評論家 斎藤 次郎 氏	中央大学法学部教授 廣岡 守徳 氏
日 時	11月23日(木・祝) 14:00～16:00	12月23日(土・祝) 14:00～16:00
場 所	鶴岡市鶴引公民館 多目的ホール	鶴岡市勤労者会館
入場料	1,000円(当日受付)	
申込み お問合せ	チャイルドラインつるおか 〒997-0037 鶴岡市若葉町15-5 Tel / Fax 0235-25-3460	

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成18年8月21日～平成18年10月20日までのご寄付を掲載いたしました)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

ふれあいカップの会 様	20,000円
鶴岡ナイスフェローライオンズクラブ チャリティ芸能発表会	30,000円
様鶴岡なつメロ愛好会 様	100,000円
三浦 正志 様	10,000円
鶴岡カラオケ友の会 様	30,000円
第2学区スポーツ教室 30周年記念事業 様	10,000円
庄内なつメロ会 様	150,000円
八沢会 様	100,000円

◎藤島福祉センター

曹洞宗山形県第三宗務所第九教区寺院 様	40,000円
曹洞宗山形県第三宗務所 様	50,000円

◎羽黒福祉センター

羽黒やまびこ会 様	30,000円
-----------	---------

◎朝日福祉センター

長南 廣治 様	50,000円
---------	---------

◎温海福祉センター

佐藤 昭一 様	50,000円
---------	---------

★おおやまへ

小林 作恵 様	「現代日本の歩み」VTR 40本
---------	------------------

★ふれあいへ

尾形 守雄 様	50,000円
---------	---------

★たかだてへ

早坂 安江 様	20,000円
---------	---------

★高齢者福祉センターおおやまへ

門谷 和男 様	「あじさいの苗」50ポット
---------	---------------

★鶴岡市大山児童館へ

後藤 貞恵 様	「チューリップ球根」44個
---------	---------------

★知的障害者授産施設もみじが丘へ

中村 又雄 様	「アルミ缶プレス機」1台
（株）庄内銀行 ねずが関支店 様	「クッション」

お詫び

おだがいさま第6号でお知らせいたしました、鶴岡市社会福祉協議会の提供する福祉サービスの苦情解決にあたる第三者委員 魚住百合子さんの電話番号は24-5965です。ここにお詫びし訂正いたします。

～みんなでささえあうあったかい地域づくり～

“歳末たすけあい募金” ご協力お願いいたします!!

市民の皆様には、地域福祉活動を推進する財源としての市社協会費並びに10月1日からスタートした赤い羽根募金運動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も共同募金運動の一環として、11月15日より「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに「歳末たすけあい募金運動」が展開されます。

皆様より寄せられた募金は、地域で支援を必要とする方々などへの援助や地域福祉活動の推進のために役立てられております。

本年も新たな年を迎えるにあたり、みんなが「おだがいさま」でともに支えあい、安心して暮らすことができるように皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◎目標額 11,938,000円

◎運動期間 11月15日～12月31日



～歳末たすけあい募金の流れ～

家庭・職場・学校など



募金

山形県共同募金会鶴岡市支会



山形県共同募金会



鶴岡市社会福祉協議会



配分

支援を必要とする方々 ・ 地域福祉活動配分



歳末たすけあい募金の伝達の様子

歳末たすけあい募金は、社会福祉協議会で設置する配分委員会で配分先を検討し、歳末時期に支援を必要とする方々へ贈られています。また、地域福祉を推進するため、福祉活動に配分されております。



www.akaihane.or.jp

あなたの募金があなたのまちの何に役立てられているか、ご覧いただけます。